



↑参加者の視線を集めたロボット

←江口社長、川添町長らによるテープカット

エグチベジフル（株）新大型選果場落成式 バレイショの生産拡大に期待

1月11日、エグチベジフル株式会社の新バレイショ選果場の落成式が行われ、生産者、町関係者ら約150人が出席しました。

同選果場は一部2階建て、延べ床面積約2,800平方メートルを有し、国の産地パワーアップ事業や町の補助金を含む総事業費約8億3,700万円で建設されました。サイズ別の箱を自動で積み分けるロボットを備え、日量120トンを処理できる大型選果場となっています。

江口輝文社長は「バレイショの栽培面積、販売量をさらに拡大させたい」とあいさつしました。

式の後には場内が公開され、参加者は最先端の設備に興味を示していました。

鷹巣放課後児童クラブ開所式 安全を踏まえ、校内へ移転

1月8日、鷹巣小学校敷地内で鷹巣放課後児童クラブの開所式が行われ、学校職員や町関係者が出席しました。

同クラブは昨年4月から本町公民館で開所されていましたが、児童の安全面を考慮して、元場所である同小学校の敷地内に移転しました。

大野憲久校長は「学校内に児童クラブが設置され、運営の向上が期待される」とあいさつしました。同クラブは毎日、約20人の児童が利用し、勉強をしたり、友だちと遊んだりしています。



↑クラブ内で勉強に励む児童たち



↑燃え上がる火に手をかざし、暖を取る子どもたち

町内各地で鬼火たき 無病息災を祈る

1月7日、町内の各集落で鬼火たきがありました。

山中集落や上揚集落では、午後4時過ぎから広場で育成会などが竹やスギの木で組まれたやぐらに火を入れ、無病息災を祈りました。

うす暗くなる頃には子どもたちも集まり、餅やぜんざいなどを食べて住民との交流を楽しんでいました。鷹巣小4年生の兒玉奏君は「水泳をがんばりたい」と今年の抱負を話しました。